

2023年度（令和5年度）
一般社団法人日本小児アレルギー学会事業計画書
（2023年9月1日から2024年8月31日まで）

事業項目	事業概要
学術大会の開催 （定款第4条第1号）	第60回日本小児アレルギー学会学術大会 会期：2023年11月18日、19日 会長：大嶋 勇成（福井大学 医学系部門医学領域小児科学 教授） 会場：京都市勧業館みやこめっせ（ハイブリッド開催） 参加予定数：1,800名（医師 1350, コメディカル 450, オンデマンドも含む） 一般演題応募予定数：217題（一般演題 191題+iPAS 26題）
学会誌・ガイドライン、その他の刊行物の発行 （定款第4条第2号）	1. 日本小児アレルギー学会誌 第37巻4号～第38巻3号 発行形態：オンライン版・ダイジェスト版 通常号年間4回および学術大会プログラム・抄録号1回（計5回） 通常号12,翌年3,6,10月発行、学術大会プログラム・抄録号9月 オンライン版はJ-stage、メディカルオンラインに掲載 2. 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン（JPGL）改定（2023年11月刊行予定） 3. 食物アレルギービジュアルブック2023作成（2023年11月刊行予定） 4. 小児のためのアトピー性皮膚炎の予防と治療の手引き～小児アトピー性皮膚炎治療・管理ガイドライン2024～（2024年11月刊行予定） 5. 患者さん向け小児ぜん息治療ガイドライン作成（2024年秋刊行予定） 6. 食物アレルギー診療ガイドライン（JGFA）2026改訂（2026年秋刊行予定）
調査の実施、講習会・講演会の開催 （定款第4条第3号）	1. NFA調査（喘息死・致命的気管支喘息増悪（発作）の患者把握を目的とした多施設共同研究）の実施
研修および教育の実施 （定款第4条第7号）	1. 臨床研究支援セミナー（Clinical Research Supporting Seminar: CReSS） 日時：2024年6月（予定） 会場：日本科学未来館（東京）（予定） 募集人数：30名（予定） 2. 小児アレルギースキルアップコース（PASCO）【2019年度GSK医学教育事業助成による】 1) 全国（卒後10年以内の若手医師向け） 小児アレルギースキルアップコース（PASCO）2023 日程：2023年9月30日（土） 会場：日本科学未来館（東京） 内容：若手小児科医のための小児アレルギー分野の実践的教育 募集予定数：58名 2) 地方（若手医師および地域医療に携わる小児科医向け） PASCO in 長野 日程：2024年5月18日（土） 会場：長野県 内容：地方の若手小児科医・実地小児科医のための小児アレルギー分野の実践的教育
研究の推進およ	1. 研究費補助金申請（支援研究）の公募と研究助成金交付

<p>び研究業績の表彰 (定款第4条第7号)</p>	<p>助成金額：130万円（総額） 内容：小児アレルギー分野の臨床研究を推進し、日本発のエビデンスを創出していくため、会員の行う独創的な観察・調査研究および介入研究を支援する。</p> <p>2. 協力研究の公募 助成金額：なし 内容：すでに実施中の研究に学会として協力（症例登録の呼びかけなど）。</p> <p>3. 優秀論文賞 内容：その年の日本小児アレルギー学会誌に掲載された原著論文の中から原則として2論文に「日本小児アレルギー学会優秀論文賞」を授与することをもって、発表者の研究活動を奨励することを目的とする。</p> <p>4. 学術大会優秀演題賞 内容：選考を希望した一般演題（口演）に対して発表内容を精査し、最優秀演題賞を1名、優秀演題賞を若干名表彰することをもって、発表者の研究活動を奨励することを目的とする。</p>
<p>関連学術・専門団体との連携 (定款第4条第5号)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本小児科学会 2. 日本アレルギー学会 3. 日本小児臨床アレルギー学会 4. 日本アレルギー協会 5. 内科系学会社会保険連合 6. 日本栄養士会 7. 日本学校保健会
<p>国際的研究協力と国際交流の推進 (定款第4条第5号)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第60回日本小児アレルギー学会における International Pediatric Allergy Symposia (IPAS)の開催 2. Korean Academy of Allergy and Respiratory Diseases (KAPARD:韓国小児アレルギー呼吸器疾患学会)交流事業 3. Asia Pacific Association of Pediatric Allergy, Respiriology & Immunology (APAPARI)の活動への参加 4. World Allergy Organization(WAO)の活動への参加 5. APAPARI およびアジアで開催される国際学会に参加する派遣医師・研究者へのトラベル гранト提供（オンライン開催の場合は参加登録料の補助） 6. EAACI の Winter school、Allergy School on Anaphylaxis への会員派遣、トラベル гранト提供 7. 第60回日本小児アレルギー学会 International Pediatric Allergy Symposia (IPAS) 海外参加者へのトラベル гранト提供
<p>普及啓発・社会活動 (定款第4条第7号)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. アレルギー疾患対策基本法にもとづくアレルギー疾患医療の推進 2. 第60回日本小児アレルギー学会における市民公開講座開催 3. 学会ウェブサイトでの一般向け情報発信 4. 災害発生時の被災者支援（小児アレルギー疾患分野） 相談窓口の設置・災害対応パンフレットの配布 アレルギー除去食品など支援物資供給体制の支援 5. Minds ガイドラインライブラリにガイドラインの一部を掲載
<p>理事会、代議員総</p>	<p>理事会：定例3回（学術大会開催前日（秋）、日本小児科学会学術集會会期中（4～5月）、8</p>

<p>会、委員会・ワーキンググループ (定款第 11 条～第 19 条、第 30 条～第 36 条)</p>	<p>月) 他、随時 WEB 開催 定時代議員総会：学術大会第 1 日 開催形式 ハイブリッド形式 (予定) 委員会・ワーキンググループ(WG)： 委員会 (18)：編集委員会／規約委員会／疫学委員会 (小児喘息重症度分布経年推移多施設調査 2022 の実施)／国際交流委員会／社会保険委員会／食物アレルギー委員会／薬務委員会／気管支喘息委員会／研究推進委員会／利益相反委員会／倫理委員会／災害対応委員会／将来計画委員会／広報委員会／キャリア支援委員会／学術大会委員会／アトピー性皮膚炎委員会/Junior 育成委員会 ワーキンググループ (3)：小児アレルギー教育セミナーWG (PASCO)／アレルギー性鼻炎WG／システムティックレビューWG</p>
<p>理事長選挙(定款第 4 条第 7 号) 委員会 WG 改組の実施</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事長選出 2. 監事選出 3. 各種委員会・WG の改組